

エコシティたかまつへ向けて

エコシティたかまつ環境マネジメントシステムとは **1**

高松市の行政活動から生じる環境負荷を低減するための
本市独自の取り組み。

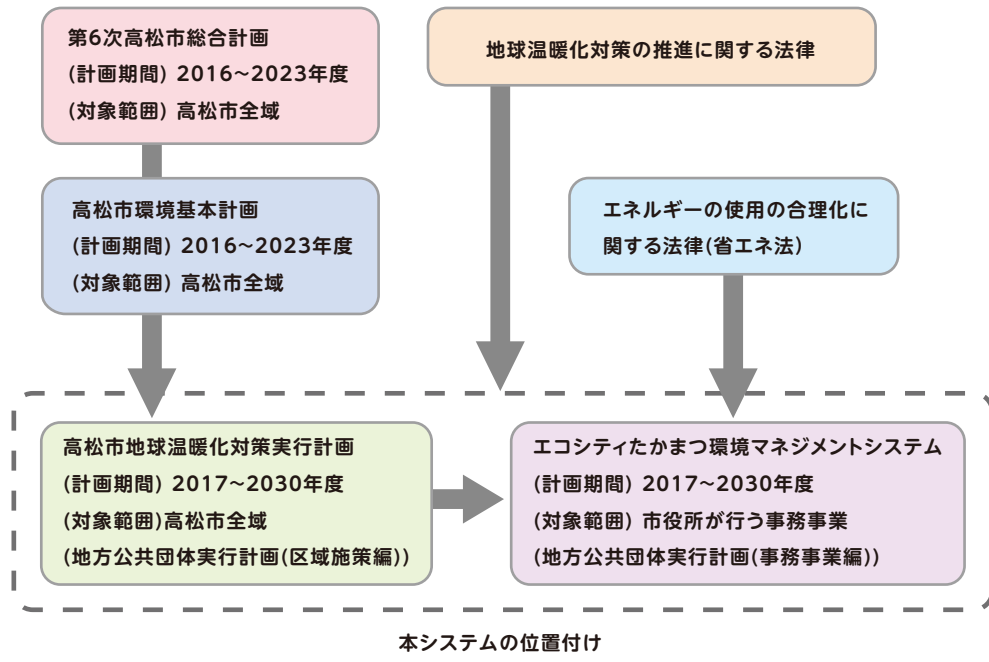
削減目標に向け、全職員が環境に配慮した行動をとり、事務事業から
生じる環境負荷の低減と事務の効率化に取り組んでいます。

趣 旨

「高松市地球温暖化対策実行計画」等への積極的な貢献を目指し、
各種環境配慮活動を推進するための本市独自環境マネジメントシステム

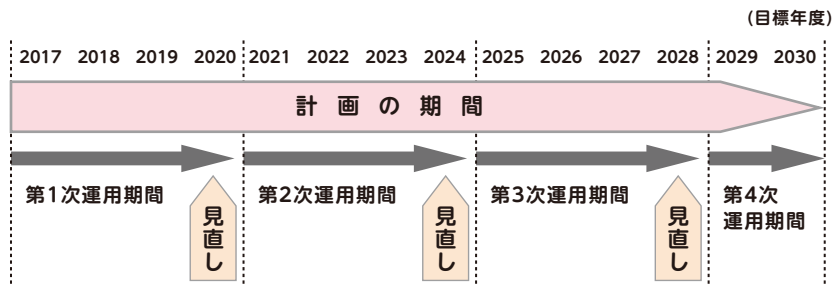
位置づけ

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく、
地方公共団体の実行計画(事務事業編)として位置づけ



運用期間

2017年度~2030年度まで14年間



エコシティたかまつへ向けて

エコシティたかまつ環境マネジメントシステムとは②

対象とする温室効果ガス

二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、
ハイドロフルオロカーボン(HFCs)

対象とする温室効果ガス

温室効果ガスの種類	排出源	地球温暖化係数
二酸化炭素(CO ₂)	・電気、ガス、燃料等の使用 ・廃棄物の焼却	1
メタン(CH ₄)	・廃棄物の焼却	25
一酸化二窒素(N ₂ O)	・下水・し尿処理 ・公用車の使用	298
ハイドロフルオロカーボン(HFCs)	・公用車のエアコン使用	1430

※ここで定める温暖化係数は、地球温暖化対策の推進に関する施行令第4条に基づき、当初計画の温暖化係数を変更している。

削減目標

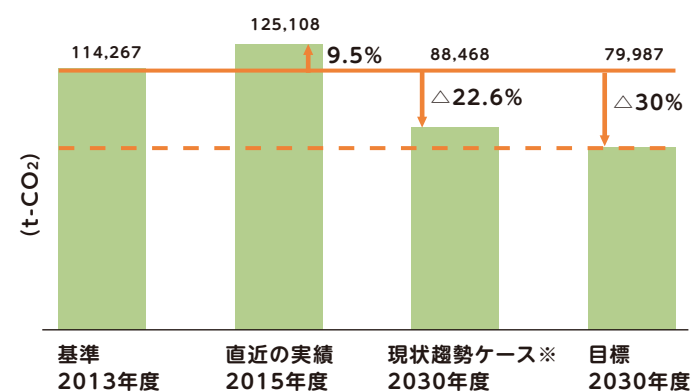
1. 温室効果ガス総排出量…2030年度までに2013年度比30%削減

温室効果ガス排出量の目標値

項目	基準値	目標値
	基準年度 2013年度	目標年度 2030年度
温室効果ガス総排出量 (二酸化炭素換算)	114,267 t-CO ₂	79,987 t-CO ₂ (30%削減)

※排出量は2015年に環境省より公表された新たな算定方法による。

温室効果ガスの排出実績と目標



※現状趨勢ケースは、電気事業連合会の定める2030年度の排出係数目標値を用いて算出している。

2. その他の環境配慮項目…

用紙類使用量を2020年度までに2015年度比3%削減

上水道使用量を2020年度までに2015年度比3%削減

環境配慮設定項目の目標値

項目	基準値	目標値(3%削減)
	(基準年度:2015年度)	(目標年度:2020年度)
用紙類使用量の削減 (A4判換算)	59,567,365枚	57,780,344枚
上水道使用量の削減 (施設床面積1m ² 当たり)	1.02m ³ /m ² (0.92m ³ /m ²)	0.99m ³ /m ² (0.89m ³ /m ²)

※「用紙類使用量」は、本市の施設において、一年間に購入した用紙類の総数
 ※「上水道使用量」は、本市の施設において、一年間に使用した上水道(施設床面積1m²当たり)の使用量
 ()内は指定管理者制度導入施設等を除いた実績及び目標値

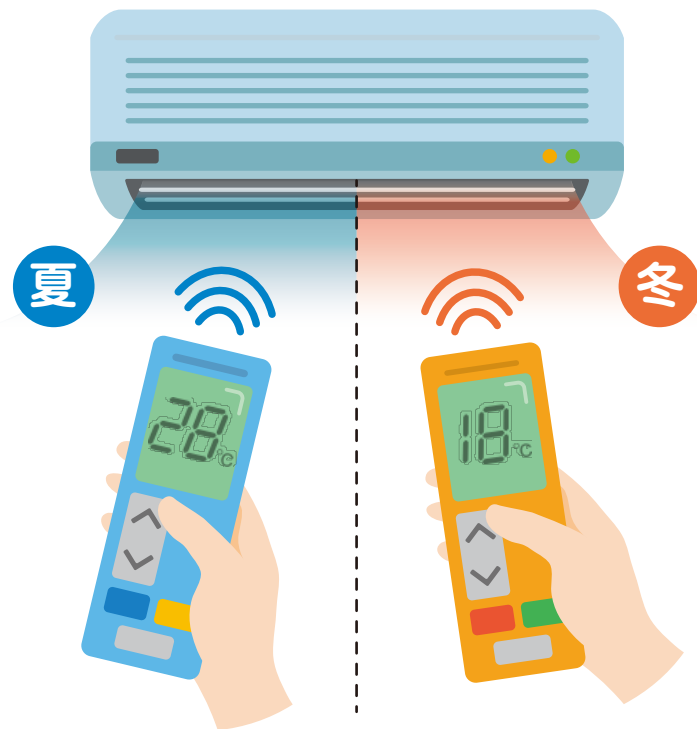
エコシティたかまつへ向けて

具体的な取組み 1

電気使用量の削減

空調の適温化の徹底
(冷房28℃、暖房18℃)

昼休み中や残業時など
消灯の徹底



水使用量の削減

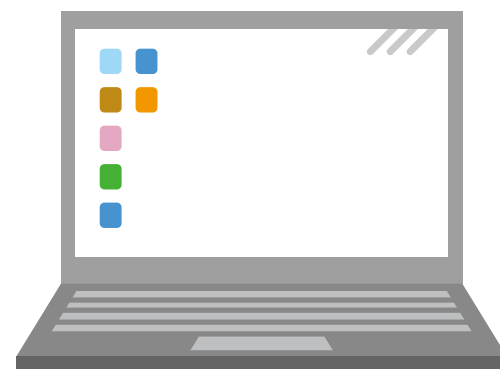
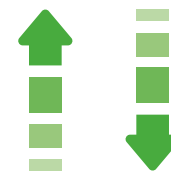
日常的に
節水を励行



用紙類使用量の削減

両面印刷及び
両面コピーの徹底

ペーパーレス化
の推進



エコシティたかまつへ向けて

具体的な取組み 2

公用車の適正使用

低燃費・低公害車の
導入の推進

アイドリング・ストップの励行



軽乗用電気自動車



軽貨物電気自動車



低公害型塵芥収集車

グリーン購入の推進

物品等は環境への
負荷を考慮して購入



廃棄物の削減・ リサイクルの推進

ごみ分別の徹底と
再資源化を推進



イベント実施時の配慮

チラシ、資料の
発行部数を
必要最小限とする

